

# 趣味を通して広がる人の輪 木津総合会館

和気あいあいと練習に励む三味線教室の皆さん



## 日本の心 三味線民謡教室

歌いながら弾く民謡を中心にお稽古をしている教室です。

講師の橋本千鶴さんと受講者の皆さんは、年に1度の学習発表会での演奏のほか、天河草子でのボランティア演奏や姉妹都市バララットからの交換留学生への体験指導など、日本固有の伝統楽器である三味線と民謡を通して文化交流を図る活動もされています。

「三味線は難しい楽器なので毎日少しずつでも練習しています。頭の体操にもなるし、地元で友達もできて楽しいですよ」と話される受講者の皆さん。心をひとつにして演奏するパチさばきに、三味線に対する皆さんの熱い情熱が感じられました。

## 楽しいが一番！ 英語であそぼ

「Hello, teacher!」と子ども達のあいさつでクラスは始まります。出席をとる先生への返事も「Here」と本格的。英語の歌やジェスチャーゲームなどを通して、遊びながら自然に英語に慣れ親しんでいます。耳で覚えた英語なので「アップル」ではなく「アぷう」と発音もなかなかのものです。

講師の岩木康子さんは「世界にはいろいろな人がいて文化の違いもあることを知ってほしい。さまざまな国の先生に参加してもらい一緒に遊ぶ時間を楽しんでいます」と語られました。



外国人の先生と一緒に

子ども達には外国人と遊ぶ楽しい時間に言葉の壁などないのかもしれない。

## 後編集

どの講座も受講者の皆さんが和やかな雰囲気の中で、意欲的に学ばれていました。さまざまな知識や技術を学ぶことで、心は豊かになり、そのうえ、今まで知らなかった多

くの人達との出会いもありました。今回紹介した講座は受講料が無料です。これから新しい趣味を始める第一歩には最適だと思いませんか。皆さんも講座に参加して、自分の世界をもっと広げてみませんか。

【いながわ特派員】

## 背筋を伸ばして筆を持つ 習字教室

子ども達は講師が作ったお手本を見ながら毛筆と硬筆を練習。元気いっぱいの子



真剣に取り組む子ども達

ども達も、筆を持ったとたん背筋がピンと伸び、落ち着いて真剣に書いていました。「習字をすることで書き順や形も正しく覚えられます。書いた字を厳しい目で見るのが上達につながります」と話される講師の吉見二郎さん。子ども達は「きれいな字が書けるようになりたい」と何枚も何枚も練習し、先生に添削してもらっていました。

## 選んで学べる パソコン教室

名刺づくり・ハガキ作成・デジカメなどのコースがあり、初心者のためにゆっくりすすむ「かめさん教室」や、託児付きの「こあら教室」、「パソコン絵画教室」、「小学生パソコン教室」など、全1~4



一人ひとりに丁寧な指導

回の短期講習で選択して受講できるのが魅力です。「かめさん教室」では5人の受講者がエクセルでカレンダーを作成していました。少人数制なので、一人ひとりに目が届きます。講師はパソコンサークル「シフォン」のメンバー達。この日の講師の行徳美子さんと浦東亜矢さんは「皆さん熱心で、私達のほうが元気をもらっています」と微笑まれました。受講者の前田安活さんは「習ったことを仕事で生かしたいです」と話されました。

## 作品作りでいろんな経験 子ども美術ラボ

館外での写生・万華鏡作り・たい焼きの魚拓をとるなど、バラエティー豊かな内容で行われています。子ども達はパチンコ台のような「玉転がしゲーム」を製作中。慣れない釘打ちに四苦八苦しながらも、コツをつかむとうまく釘が打てるようになり、楽しい作品ができました。



釘打ちにチャレンジ

講師の米田由美さんは「人と同じではなく、自分のやり方で作品づくりに取り組んで欲しいです。良い物を作り上げた時の満足感が子ども達の自信になります」と語られました。昨年12月には世界各国から6,598点の応募があった「読売国際漫画大賞」のジュニア部門で、楊津小学校4年生の石塚明子さんが優秀賞を受賞するなど、教室の中で子ども達の力が大きく育っています。

県道川西篠山線を北に向かって進み、スポーツセンターを過ぎてしばらく行くと、木津総合会館の小さな案内看板があるのをご存知ですか。右に曲がって坂を少し上がると、昭和51年に開館した3階建ての会館があります。

今回はここで開催されている7つの主催講座を訪ね、お話をうかがいました。

# いながわ 特派員報告

いながわ



久保田 由美



中橋 弥里

## 住民の交流の場として

木津総合会館は、人権推進室・人権教育室の事業を所管し、「隣保館・児童館」を併設した施設で、人権にかかわる地域の拠点として人権教育・啓発を行っています。

「差別のない人権文化に満ちた町づくり」をめざし、生活や文化の向上と、地域における人と人とのつながりを深めることを目的にさまざまな講座を主催しています。これらの講座の受講料は無料（ただし、保険料要・教材費実費）で、講師の皆さんは

ボランティアに近い形で教えておられます。また、多くの人に参加してほしいというところから、年に1度の募集の際には新規申込みの人を優先しています。会館では、これらの主催講座以外にも8つの自主グループが活動を行っています。なお、平成19年度の主催講座の募集は3月中旬開始の予定で、くわしい講座内容や申し込み方法は3月15日に新聞に折り込まれる「木津総合会館だより」に掲載されます。問い合わせは、木津総合会館（768・0217）へ。

## 暮らしの中に花を 生け花教室

小原流生け花教室では、和気あいあいとした雰囲気の中、受講者の皆さんがそれぞれの水盤に向かって



洋風の作品を生ける

花を生けていました。月に一度のお稽古ですが、季節ごとの行事に合わせた花を生ける中で、小原流の基本の形を学べるようにと講師の喜多豊梅さんは工夫されています。

「家の中にお花があると心が和みますよ」と受講者のおひとり。会館の玄関ホールに講師の作品が飾られると、確かにその場の雰囲気がほんのりと暖かく感じられました。

## 書くことを楽しむ 書道教室

筆を持つのは学生以来という受講者が多いこの教室では、まず筆に慣れることから始まります。漢字・かなの基礎をしっかりと学び、「いながわまつり」の作品を仕上げます。その後、古典やいろいろな書体の作品を練習します。

講師の永原雅春さんは「書道は一本の線の芸術です。書くことを楽しんでほしいと思います」と語られました。受講者の皆さんは「筆を持つこの時間は、家事を忘れて書くことだけに集中できる至福のひと時です」といきいきと書道に励んでいました。



基本に忠実に筆を運ぶ